

最近、X線CTやMRI、EUSといった画像検査法の進歩によって、大腸癌の深達度や進展度の診断が日常的に行われるようになってきた。しかしその中で、固有筋層は最も厚く、筋組織という比較的密な組織であるためか、pm癌の深達度診断は最も難しい。一方、大腸癌の発育・進展を“中間癌”ともいふべきpm癌の視点から見てみようという気運も生じてきた。そこで、まずpm癌の実態を知り、次にこの2つの課題に挑戦しようと企画されたものが本号である。これまでの見解に1歩も2歩も踏み込んだ内容が認められる。

丸山は、深達度は癌が最も広範囲に浸潤している層によって規制されているのではないかと、癌の厚さを浸潤パターンと見なして病変を類型化し、臨床診断と治療のあり方を検討すべきではないかと問いかけている。各主題論文は以下のような疑問や課題にかなりの程度答えている。①固有筋層は最も厚いのにpm癌の頻度はなぜ少ないのか、②固有筋層はbarrierとなりうるか、③種々の画像診断法の中で最も正診率が高いのはどれか、④

注腸写真における深達度診断の精度を高めるためには変形の程度の計測法が必要ではないか、⑤内視鏡像でどのような所見があればpm癌といえるのか、⑥画像的に固有筋層を内輪筋層と外縦走筋層に区分できるか、⑦pm癌は病理的にみて大腸癌の発育・進展上でどのように関わり合うのか、⑧深達度やリンパ節転移の診断が可能となってきた現在、外科医はこれまでのような画一的なものだけでなく、進行度に合わせた手術法が必要ではないか。特に、今井らは、直腸内コイルを用いたMRI画像で壁の層構造のみではなく、ルーペ像における病理組織像と一致した写真を呈示している。診断法の急速な進歩をうかがわせるもので、今後の更なる飛躍が期待される。

学問も流れと共に流れの中にある。医学は種々ある学問の流れの中でも、人の肉体と精神に直結する率が極めて高い。本誌はあくまで臨床に役立つ医学の本流を目指し続けてゆきたい。本特集号は臨床に役立つはずである。

胃と腸

12月号(第27巻・第12号) 予告

発売予定 12月7日
定価 1,957円(税込)

主題／難治性胃潰瘍(1) 治癒予測を中心に

序 説	難治性胃潰瘍とは……………	都がん検診センター	西 澤 護
主 題	病態生理からみた難治性胃潰瘍……………	阪医大・2内	芦田 潔・他
	難治性胃潰瘍—X線所見を中心に……………	福岡大・1内	岡田 光男・他
	胃潰瘍の内視鏡的難治所見の解析—8週以内治癒症例と8週未治癒症例の比較……………	名市大・1内	横山 善文・他
	難治性胃潰瘍—内視鏡所見を中心に……………	北里大・内科	大井田正人・他
	潰瘍瘢痕の内視鏡観察からみた難治性胃潰瘍の特徴と予後……………	都立駒込病院・内科	榊 信廣・他
	難治性胃潰瘍—EUS所見を中心に……………	名大・2内	丹羽 康正・他
	病理からみた難治性胃潰瘍の特徴……………	新潟大・1病理	渡辺 英伸・他

胃と腸 (第27巻 第11号)

編集 早期胃癌研究会

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

販売部直通 (03) 3817-5659

1992年11月25日発行(毎月25日発行)

1部定価 1,957円(本体 1,900円)(配送料 81円)

年々め予約購読料 22,320円(本体 21,670円)

(送料弊社負担)

FAX (03) 3815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印刷所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 3814-5771

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1992, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

• **R** <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

• 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3269-5784)の許諾を得てください。

(担当) 渡邊・窪田・江口・長谷川